事業計画書目次

[健康福祉局] 17款 1項 9目 (単位:千円) 曽△減(3-2) 38 新規・拡充 総額 一財+市債 増△減(3−2) 令和3年度 令和2年度 計画書頁 事 業 名 総額 一財+市債 総額 一財+市債 公害被害者救済事業費 11,306 11,306 11,629 11,629 △ 323 △ 323 会計繰出金 11,306 11,306 11,629 11,629 計 Δ 323 Δ 323

(局・統括本部) 令和3年度事業計画 書 (様式②-1)

[健康福祉局 保健事業 課]

公害被害者救済事業費会計繰出金

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
新規・拡充

中期計画-38の政						
政策番号	主な施策番号					

令和2年度 事業評価書 番号	該当なし
令和2年度 事業評価書 番号	

(単位・千円)

										(十): 1111/
				財源内訳			一般財源等			
	区 分	金	額	国		県			市債	一般財源
Г										
	令和3年度		11, 306		0					11, 306
Γ	補助事業									
	単独事業			補助率	%					
Γ	令和2年度		11, 629							11,629
Γ	増△減		△ 323		0	0	0	0	0	\triangle 323

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
予	事業費	10, 747	10, 961	11, 154	
算	市債+一般財源	10, 747	10, 961	11, 154	
決	事業費	10, 429	10, 871	10, 748	
算	市債+一般財源	10, 429	10, 871	10, 748	

	歳出	令和4年度	令和5年度
予	事業費	12,000	12, 000
算	市債+一般財源	12,000	12,000

方針に関する決裁 種別() (S49年11月) ·無

【 事業の目的・必要性 】

公害被害者救済事業費会計における各種事業の財源の一部として、一般財源を繰り出す。

【 令和3年度実施内容と期待される効果 】

① 総務費·給付事業費

職員人件費(1人分)及び事務費並びに給付事業費の一部について1/2を負担する。

② 公害保健センター事業費 所長の人件費(1人分)を負担する。

【実績及び今後見込み】

(単位:千円)

	R2年度	R3年度	差引	説	明	
 総務費・給付事業費 	5, 163	4, 837		給付事業費の減		
② 公害保健センター事業費	6, 466	6, 469	3	人件費の増		
合計	11, 629	11, 306	△ 323			

【事業開始年度】 昭和49年

【根拠法令】

公益財団法人 川崎・横浜公害保健センター定款

川崎・横浜公害保健センターに関する協定書 公益財団法人 川崎・横浜公害保健センターに交付する負担金に係る協定書

外郭団体役員及び職員の人事及び給与の基準に関する要綱

	課長	係長	係
本資料は、公正・適正に作成しました。	山田 洋	藤本 恵子	鈴木 恵奈
	1-1	(8	建康福祉 局 一)